



「自律・自走し考動する 80 期生」

■ キャリアを考える

進路選びの第一歩は、「自分」と「相手（本校を出た後の場所）」を知ることから始まります。これは、6月のR-CAPや夏のオープンキャンパスで、皆さんがすでに取り組んできたことですね。そして、将来の自分を想像するには、少し先を歩いている人の実体験を知ることが大切です。先生方の話からは、さまざまな進路選択や働き方のヒントが得られるはずです。

もちろん、ヒントを得るには、他者の話を聞くだけでなく、「自分だったらどうかな」と考えてみるのが欠かせません。（私自身も、「自分だったらこうだったな」と振り返ってしまいます。）

先の14号でも書きましたが、東京の企業や福島のワークショップで、20代や30代の方々から職業選びに関する話をたくさん聞かせていただきました。中でも印象的だったのは、「自分の好きなことを仕事にする」や「社会の中でどう活躍するか」といった視点が、キャリア、特に職業選びにおいて多く語られていたことです。私自身は、「好きなことが得意とは限らない」「それを仕事にすると義務感やプレッシャーが生まれるかもしれない」と考えてきました。でも確かに、好きなことの方が努力や創造性を発揮しやすく、働く上でストレスも少ないのかもしれない。

ただ、好きなことは変わっていくものですし、自分自身も変化していきます。環境、健康、感情、人間関係、価値観…人生はこうした「変数」に満ちています。高校期に限らず、キャリアとは、模索の過程で「変わらないもの（＝定数）」を見つけていこうとする営みのだと、私は思っています。

文部科学省も、「キャリアとは、生涯に

わたって様々な役割を果たす過程で、自分らしい生き方を見だしていく連なり」と定義しています。

■ 前期成績から

入学してからの半年間の成果の一つが、今手元にある「成績通知票」です。観点別のA・B・Cの評価基準については、『学校生活のしおり』P8をご参照ください。

ただし、現時点の成績がゴールではありません。今の学習方法でこの成績にとどまっているのなら、後期にはどのように改善していくかを考え、行動に移すための「チェックポイント」として捉えることが大切です。

このタイミングで勉強への取り組み方を見直し、後期に成績が向上したならば、前期の厳しい評価も、のちの自分にとって大きな糧となった——そう実感できるはずです。

何度も繰り返し伝えていますが、やはり「量」と「質」の両方が必要です。平日90分間の学習をせずとも、中学1・2年生の頃は満足のいく成績が取れていたかもしれません。中学3年では「受験」という明確な目標があったからこそ、頑張れたのかもしれませんが。では、今のあなたはどうか。到達したい目標を見失ってはいませんか？過去の積み重ねが「今」をつくり、今の積み重ねが「未来の姿」になります。今こそ、自分の学び方を見つめ直すチャンスです。

■ 当面の予定 手帳にメモしよう！

18日(土) 大阪サイエンスデイ(天王寺高校)

19日(日) (希望者) 駿台実戦模試(上本町校)

23日(木) 学問・学部探究、受験科目調べ
アンケート※Chromebook 必要

30日(木) 後期役員選挙

31日(金) 11月4日(火) 5日(水) 面談